

ALPS 第5回 合同研修会

1 日 時 平成28年 8月 8日(月) 10時00分～12時00分
8月24日(水) 17時00分～18時40分

2 場 所 旭川市立朝日小学校 図書室

3 参加者 朝日小学校 中山 玉井 櫻井 北島 木村 町田
青雲小学校 貝谷
新町小学校 亀掛川
永山西小学校 小林
近文小学校 三浦 長瀬
大有小学校 石川

4 概要 *指導案検討

11月4日(金)の実践発表会で提案する2本の授業について、8日に続いて24日にも指導案検討会を行いました。

(1) 3年算数「三角形」

3年生の算数は、「三角形」9時間扱いの5時間目です。二等辺三角形の辺の相等関係について理解を深める場面で、「数学的な考え方」がしっかり身に付く授業の工夫を考えています。全国学力・学習状況調査でも、二等辺三角形や正三角形の性質を活用したり、説明する問題に課題がありますので、この授業場面は改善対策の一つにしたいのです。

円や折り紙を使う算数的な活動へ取り組む時間と対話的に「数学的な考え方」をどのように分かりやすく学べるのか、苦労しているところです。



(2) 6年道徳「中学校へ羽ばたく自分を見つめよう」

6年生は、特別の教科道徳として「道徳の時間」を中心とした総合単元的な学習を構想しています。

卒業に向かう6年生が自分自身を見つめ直し、新たなスタートに向けてあるべき姿を模索し、希望をもって中学校に羽ばたいていくことを目指してのつながりを意識した「ジョイントカリキュラム」としました。



ここでは、総合単元としての意味や道徳と関連する他領域や教科等とのつながり、そして本時の道徳の時間の指導についてが検討課題です。

本時では、読み物資料としてではなく、子どもたちが考えるための手立てとして絵本「ええところ」（くすのきしげのり作 学研プラス）を使用する予定です。この資料の扱いについてや、本時の目標について、マイノートや道徳ノートなど様々な点について意見を交流しました。

※どちらの指導案にも検討課題が多く見つかったため、9月上旬に再度指導案検討会を開催することになりました。